

口絵解説

[イタリア近代最初の百科事典]

Griselini, Francesco, 1717-1783.

Dizionario delle arti e de' mestieri, compilato innanzi da Francesco Griselini [vols. 1-5] ed ora continuato dall'abate Marco Fassadoni [vols. 6-18.]

Venezia, appresso M. Fenzo, 1768-1778.

18 vols. with 320 copper engraved plates, 20 cm.

[請求記号 貴 F037 00001 1-18]

近代百科事典の嚆矢、イギリスのE.チェンバースの“Cyclopedia (百科事典)” (1728) は、フランスで“理性の時代の頂点”と称賛される書物、ディドロとランベールの“Encyclopédie (百科全書)” (1751-1772) を生んだが、少し遅れてイタリアでも啓蒙主義時代の様々な人物の活躍の中で、18巻本の百科事典が刊行されている。“百科全書”の影響を強く受けた様子が窺われ、多数の銅版による図版は、道具類、機械類等、手工業技術、農業技術の精密な描写を特色として、当時のイタリアにおける産業、文化についての貴重な資料となっている。5巻までの編纂者、ベネチアに生まれミラノに死んだフランチェスコ・グリゼリーニには、博物学、自然史、農学その他に関する著作があり、ベネチアで“Giornale d'Italia”を創刊・編集 (1765-1776) して多くの記事を執筆している。また、イタリア近代喜劇の祖といわれる C.ゴルドーニ (1707-1776) の友として、自身も劇作を残すなど多方面の才能を持っていた興味深い人物である。ヨーロッパを広く旅して旅行記を残し、ロンドン、ベルン、ボローニャほか各地のアカデミーの会員でもあった。

本書は注文により少数のみ印刷されたものと推定され、揃いのセットで現存しているものは非常に少ない。British Library, Yale Univ., Univ. of Michigan 等に揃いの所蔵が確認できるが、Goldsmith, Einaudi, Higgs のカタログ類には収録されていず、Harvard の Kress文庫のカタログにも4巻の端本が収録されているのみである。(最近の Quaritch のカタログ1161に“very rare complete”として9巻に合本されたセットが収録されている。)今回購入したセットは、Yale所蔵のもの (現代政経研所蔵: マイクロ集成“Goldsmiths'-Kress library of economic literature”に収録) と較べると残念ながら図版に2枚の欠けがあるが、18世紀当時のベラム装で保存状態はほぼ良好である。イタリアの古書店より入手されたもので、旧蔵者 Alfredo Toaff, 1880-1963 (イタリアの歴史学者) の蔵書票がある。

